

令和 8 年度 東部総合庁舎受変電設備等点検整備業務委託契約書（案）

静岡県沼津財務事務所（以下「甲」という。）と （以下「乙」という。）との間に、次のとおり委託契約を締結する。

（目的）

第 1 条 甲は、甲が別に定める「東部総合庁舎受変電設備等点検整備業務委託要領」（以下「要領」という。）に定める業務（以下「委託業務」という。）の処理を乙に委託し、乙はこれを受託する。

（委託期間）

第 2 条 この委託期間は、令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの間とする。

（委託料及び支払方法）

第 3 条 甲は、乙に対し委託業務を処理するための費用（以下「委託料」という。）として、金 円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 円）を支払うものとする。

2 前項の消費税額は、消費税法(昭和 63 年法律第 108 号)第 28 条第 1 項及び第 29 条並びに地方税法(昭和 25 年法律第 226 号)第 72 条の 82 及び第 72 条の 83 の規定により算出したもので、委託料に 110 分の 10 を乗じて得た額とする。

3 第 1 項の委託料は、受変電設備精密点検業務が金 円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 円）、自家発電設備精密点検業務第 1 回が金 円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 円）、自家発電設備精密点検業務第 2 回が金 円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 円）、直流電源装置点検業務が金 円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 円）とし、乙は、第 8 条に定める処理状況の承認を受けた後に甲に請求するものとし、甲は、請求書を受理した日から 30 日以内に支払うものとする。

（契約の変更）

第 4 条 甲又は乙は、天災その他その責めに帰さない理由により、この契約を変更しようとするときは、その理由を記載した書面により、その相手方に申し出なければならない。

（権利義務の譲渡等の禁止）

第 5 条 乙は、第三者に対し、委託業務の全部若しくは一部の実施を委託し、若しくは請け負わせ、又はこの契約に基づいて生じる権利義務を譲渡してはならない。ただし、書面により甲の承認を受けた場合は、この限りではない。

（契約の解除）

第 6 条 甲又は乙は、天災その他その責めに帰さない理由により、この契約を解除しようとするときは、その理由を記載した書面により、その相手方に申し出なければならない。

2 甲は、次のいずれかに該当するときは、この契約を解除することができる。

- (1) 乙が委託期間内に委託業務を履行しないとき、又は履行の見込みがないと甲が認めるとき。
- (2) 甲がこの契約について不正の事実を発見したとき。
- (3) 乙が故意又は重大な過失により甲に損害を与えたとき。

- (4) 乙が法令等又は契約に違反したとき。
- (5) 乙が次のアからキのいずれかに該当したとき。
- ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「法」という。)第2条第2号に該当する団体(以下「暴力団」という。)
- イ 個人又は法人の代表者が暴力団員等(法第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。))又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。以下同じ。)である者
- ウ 法人の役員等(法人の役員又はその支店若しくは営業所を代表する者で役員以外の者をいう。)が暴力団員等である者
- エ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員等を利用している者
- オ 暴力団若しくは暴力団員等に対して、資金等提供若しくは便宜供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し又は関与している者
- カ 暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者
- キ 相手方が暴力団又は暴力団員等であることを知りながら、下請契約、資材又は原材料の購入契約その他の契約を締結している者
- (6) 契約の履行の全部が不能であるとき又は全部の履行を拒絶する意思を明確に表示したとき。
- (7) 契約の履行の一部が不能であるとき又は一部の履行を拒絶する意思を明確に表示した場合において、残存する部分のみでは契約した目的を達することができないとき。
- (8) この契約の締結後、事情の変化により、委託業務を処理させる必要がなくなったとき。
- 3 甲又は乙は、正当な理由により1月の予告期間をもって、この契約の解除をその相手方に申し出たときは、この契約を解除することができる。

(損害賠償責任)

- 第7条 乙は、次のいずれかに該当したときには、直ちにその損害を被害者に賠償しなければならない。
- (1) 乙が委託業務の実施に関し、甲又は第三者に損害を与えたとき。
- (2) 前条第2項又は第3項の規定によりこの契約が解除された場合において、乙が甲に損害を与えたとき。
- 2 乙は、前条第2項又は第3項の規定による契約の解除により損害を受けた場合において、甲に対し、その損害の賠償を請求することができない。

(処理状況の報告等)

- 第8条 乙は、委託業務の実施後、速やかに業務報告書を作成し、甲に提出し、承認を受けなければならない。
- 2 甲は、必要があると認めるときは、委託業務の処理状況を乙に報告させ、又は自らその調査をすることができる。

(法令上の責任)

- 第9条 乙は、委託業務の処理に当たり乙の従業員に対する雇用者及び使用者として、労働関係法令による全ての責任を負うものとする。

(服務規律の保持)

- 第10条 乙は、委託業務に従事する乙の従業員の教育指導に万全を期し、風紀、衛生及び作業規律の維持に責任を負うものとする。

(秘密の保持)

第 11 条 乙は、委託業務を処理する上で知り得た秘密及び県の行政事務に関する事項を第三者に漏らしてはならない。

(臨機の措置)

第 12 条 乙は、委託業務の実施上特に必要と認めるときは、臨機の措置を執らなければならない。

2 乙は、前項の措置を執ったときは、直ちに甲に報告しなければならない。

3 甲は、特に必要と認めるときは、乙に対して所要の指示をすることができる。この場合において、乙は、直ちに応じなければならない。

(委託料の処理)

第 13 条 甲又は乙が第 6 条の規定によりこの契約を解除した場合の委託料の処理は、甲が認める既履行部分に相当する金額をもって精算する。

(注意義務)

第 14 条 乙は、要領に基づき、委託の本旨に従い善良なる管理者の注意をもって、委託業務を処理するものとする。

(合意管轄)

第 15 条 この契約に関する訴訟については、静岡地方裁判所を管轄裁判所とすることに合意する。

(定めのない事項の処理)

第 16 条 この契約に定めるもののほか、必要な事項については、甲、乙協議の上、決定するものとする。

上記の契約の成立を証するため、この契約書 2 通を作成し、甲乙記名押印の上、各自その 1 通を所持する。ただし、この契約を契約の内容を記録した電磁的記録により締結する場合は、当事者が総務省関係法令に係る情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律施行規則 (平成 15 年総務省令第 48 号) 第 2 条第 2 項第 1 号に規定する電子署名を行い、各自その電磁的記録を保有する。

令和 8 年 4 月 日

(甲) 住 所 沼津市高島本町 1 番地の 3
氏 名 静岡県沼津財務事務所
所 長

(乙) 住 所
氏 名

東部総合庁舎受変電設備等点検整備業務委託要領

第1 目的および適用

この要領は受注者が守らなければならない業務要領を示すものである。

第2 業務実施時期

- | | |
|----------------|-------|
| 1 受変電設備精密点検業務 | 年1回実施 |
| 2 自家発電設備精密点検業務 | 年2回実施 |
| 3 直流電源装置点検業務 | 年1回実施 |

第3 業務対象設備及び業務内容

別紙1「受変電設備精密点検業務」、別紙2「自家発電設備精密点検業務」、別紙3「直流電源装置点検業務」に記載のとおり

第4 業務体制

1 業務計画書

受注者は、この契約の締結後速やかに業務計画書（実施体制、全体工程、点検の詳細項目、点検有資格者証明、その他必要事項等）を作成提出し、庁舎管理担当者（沼津財務事務所総務課）の承諾を受けること。

2 再委託の禁止

受注者は、本業務の全部又は一部を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、適正な業務の実施体制を確保できるとして、予め発注者の承諾を得た場合はこの限りでない。

3 服務規律の保持

本業務を行う受注者の従業員は、次の事項に留意すること。

- (1) 受注者の定める被服を着用し、胸部に社名及び氏名入りの名札をつけること。
- (2) 服務規律については、言動等に注意し、庁舎職員又は来庁者との摩擦を生じないよう留意すること。
- (3) 業務実施中の従業員は、風紀、衛生等について留意すること。
- (4) 庁舎管理担当者及び庁舎で定めた電気主任技術者の指示に従うこと。

4 作業中の安全確保等

- (1) 各作業において十分な安全対策を行なうとともに作業員への周知徹底を図ること。
- (2) 作業効率等を考慮して的確に点検整備作業を実施すること。
- (3) 停電・復電に際しては電気主任技術者の指示に従い、必要な措置を行うこと。

5 緊急時の対応

対象設備について事故・故障等の緊急事態等が発生した場合には、技術者は以下の事項を遵守すること。

- (1) 1名以上の技術者が、連絡を受けてから1時間以内に庁舎に到着すること。
- (2) 速やかに対象設備の運行状態を確認するとともに、被害を最小限にするための必要な措置を講ずること。
- (3) 受注者の求めに応じ、事故・故障等の状況、発生原因等を説明すること。

第5 受注者の負担

次の各号に掲げる費用は受注者の負担とする。

- 1 業務のために第三者に与えた損害で受注者の責に帰すべきものの賠償に要する費用又は業務により既設工作物等に与えた損傷の復旧に要する費用
- 2 各種試験検査に要する費用
- 3 報告書及び写真等の作成に要する費用
- 4 軽微な事項で、業務中の危険防止に要する費用
- 5 軽微な部品交換、修理、消耗品等に要する費用

第6 作業時間

平日においては、8時30分から17時15分までとする。

ただし、業務の都合上、作業時間の伸長、夜間作業又は土日祝日等に作業を必要とする場合は、予め、時間外作業届又は休日作業届を提出し、庁舎管理担当者の承諾を得なければならない。

また、庁舎職員又は来庁者の往来に支障が出ないようにするため、庁舎管理担当者と調整の上、工程を決定すること。

第7 業務終了時及び完成時の書類の提出

- 1 受変電設備精密点検業務、自家発電設備精密点検業務、直流電源装置点検業務にあつては、点検業務1回ごとに点検結果報告書 各1部
- 2 自家発電設備精密点検業務にあつては、消防設備点検結果報告書 1部
- 3 各業務の記録写真 1部

作業写真は、以下の事項を記入した説明板を入れて撮影すること。カラー写真とし、普通紙印刷とする。また、別途指示がある場合はそれに従うこと。

- (1) 業務名
- (2) 作業箇所
- (3) 作業内容
- (4) 撮影年月日
- (5) 受注者名

第8 その他注意事項

- 1 点検結果報告書には点検記録のほか、修理必要箇所及び予防保全の為の改修事項等を明記し、その修繕に必要な経費についての参考見積書を添付すること。
- 2 点検結果報告書提出の際は、庁舎管理担当者に報告書の内容を口頭で説明すること。
- 3 点検内容に不備不明な点があるときは、再点検を命ずることがある。
- 4 本要領に示されていない細部の事項及び業務実施中に生じた質疑については、庁舎管理担当者と協議し指示を受けて現場の状況に応じて誠意をもって行うこと

別紙 1 受変電設備精密点検業務

1 業務概要

受注者は受変電設備に精通した技術者を派遣し、電気事業法第 42 条第 1 項の規定に基づく保安規定による保守業務を行い、以下の点検を行う。

2 業務対象設備及び業務内容

(1) 外観機能点検

設備名	点検内容
断 路 器	本体の損傷、亀裂、変形 ロック機構の異常 固定、可動接触部の異常 接地線の損傷、断線
遮 断 器 開 閉 器	本体の損傷、亀裂、汚損発錆 操作機構、表示装置の異常 ロッド、消弧室の損傷、亀裂 接触子の損傷、磨耗 絶縁油の破損、湯量不足 接地線の損傷、断線
計 器 用 変 成 器	本体の損傷、亀裂、汚損 接地線の損傷、断線
変 圧 器	本体の損傷、亀裂、汚損、漏油 油劣化防止装置の損傷 タップ、口出線、コイルの損傷、ゆるみ、変色 接地線の損傷、断線
電力用コンデンサー	本体の損傷、亀裂、汚損、漏油 直列リアクトル、放電抵抗の損傷、亀裂 接地線の損傷、断線
避 電 器	本体の損傷、亀裂、汚損 接地線の損傷、断線
母 線 関 係	導体、支持がいし、クランプの損傷、亀裂 フレーム、架台の損傷
保 護 継 電 器	本体の損傷、亀裂、調整不良
配 電 盤 (低 圧 盤 を 除 く)	本体の損傷、亀裂 計器の損傷、指示不良 開閉器、ヒューズ、ブレーカーの損傷、変色 表示灯の損傷、汚損 盤内配線の損傷、不点 接地線の損傷、断線
そ の 他	受電室建物、キュービクル箱体の損傷、汚損 指示箇所及び必要と思われる箇所

(2) 清掃及び増締め

(1)と同一項目を清掃及び増締め

(3) 接地抵抗測定

ア 第1種、第2種、第3種、特別第3種の接地抵抗測定

イ 指示箇所及び必要と思われる箇所

(4) 絶縁抵抗測定

高圧部の絶縁抵抗測定

(5) シーケンス試験

シーケンスに基づいて各作動試験

(6) 保護継電器試験

設備名	試験内容
過電流継電器	最小動作電流試験 動作時間特性試験 瞬時要素最小動作電流試験 瞬時要素動作時間特性試験
地絡継電器	最小動作電流試験 動作時間特性試験
過電圧継電器	最小動作電圧試験 最小復帰電圧試験 動作時間特性試験
不足電圧継電器	最小動作電圧試験 最小復帰電圧試験 動作時間特性試験

(7) 変圧器点検

(8) 真空遮断器点検、試験測定（全体を3グループに分け、そのうちの1グループを実施（3年に一度の実施サイクル））

点検・試験内容	点検箇所
高圧充電部点検・試験測定	通電部、回路断路部、絶縁部
機構部点検・試験測定	制御回路部、操作機構部

(9) 高圧機器用部品交換

交換部品	数量	備考
計器用変圧器	2個	PD-100KFH 相当品
計器用変圧器	4個	PD-50KFH 相当品
変圧器保護用LBS用ヒューズ	12本	T30A
変圧器保護用LBS用ヒューズ	3本	T50A

真空遮断器点検 周期表

精密点検予定
精密点検実施済

動作確認実施
動作確認実施済

[illegible]

別紙 2 自家発電設備精密点検業務

1 業務概要

受注者は自家発電設備に精通した技術者を派遣し、以下の点検を行う。

2 業務対象設備

- (1) 発電機（高圧、西日本発電機㈱製）：1 台

メーカー型式：HPX - 625CSR(BB)

型式：E-AF

定格出力：500KVA

定格電圧：6,600V

周波数：50Hz

力率：80%

- (2) 配電盤（西日本発電機㈱製）：2 面

自動始動発電機盤（自立盤） 始動用直流電源盤（自立型）

- (3) ディーゼルエンジン（コマツ㈱製）：1 台

型式：SA6D170 - A

出力：538kw

- (4) 保護装置

3 業務内容

- (1) 発電機の静止時及び運転時における外観、機能点検 年 2 回
- (2) 配電盤の静止時及び運転時における外観、機能点検 年 2 回
- (3) ディーゼルエンジンの静止時及び運転時における外観、機能点検 年 2 回
- (4) 保護装置の作動試験
- (5) 運転性能の維持に係る予防的な保全策
- (6) 自家発電設備整備用部品交換

交換部品	数量	備考
潤滑油	4 缶	20
潤滑油フィルター	2 個	
燃料フィルター	2 個	
充電器	1 個	

- (7) 下表の項目について、分解清掃等精密点検

ア 配電盤の点検

点検項目	点検内容	点検項目	点検内容
補助リレー	接点、コイルの点検	母線	締付けの確認
タイマー	時限測定	保護継電盤	最小動作時限特性
主回路開閉器	動作点検、注油	端子接続部	増 締

イ 発電機点検

点検項目	点検内容	点検項目	点検内容
内 部	点検清掃	接地抵抗	測 定
軸受部	補 給	周波数特性	〃
励磁回路	絶縁測定	電圧調整範囲	〃
主回路	〃		

ウ ディーゼルエンジン精密点検

点検項目	点検内容	点検項目	点検内容
燃料フィルター	外観点検	圧縮状態	確認
潤滑油フィルター	"	吸排気弁	間隙点検
エアフィルター	"	温度検出	テスト
クランクケース	内部点検	電圧検出	"
燃料噴射時期	確認	始動テスト	確認
セルモーター	電流子部の清掃	バッテリー	容量は十分あるか
セルモータースイッチ	接触面点検		

エ 運転テスト

点検項目	点検内容	点検項目	点検内容
各相電圧	バランス	発電機温度	異常ないか
周波数	異常ないか	室内温度	"
排気温度	"	ガバナ	"
冷却水温度	"	潤滑油温度	"
自動起動	正常か		

(8) 消防法に基づく模擬負荷試験業務

年 1 回

模擬負荷試験（30%以上の負荷、30 分程度）を行う。

別紙 3 直流電源装置点検業務

1 業務概要

受注者は直流電源装置に精通した技術者を派遣し、以下の点検を行う。

2 業務対象設備

(1) 直流電源装置：TR-SNTR10050-A

(2) 蓄電池：SNSX-150(SNS-150)

3 業務内容

以下の点検業務を行う。

設備名	点検内容
直 流 電 源 装 置	現状点検 外観点検 絶縁抵抗測定 電圧調整範囲 計器指示点検 整流部出力波形観測 充電器切換動作 垂下電流 負荷電圧補償装置点検 警報回路動作試験 最終設定確認 波形観測記録
蓄 電 池	機能点検 外観点検 蓄電池測定 清掃、増締、換気

受変電設備精密点検業務

配 電 盤 点 検 表

設置場所	点検日	点検者	天候
製造番号	製造年	製造者	

[illegible]

断 路 器 点 検 表

設置場所	点検日		点検者			
用 途	天候	温度	℃	湿度	%	
形 式	電圧	V	電流	A	周波数	Hz
製造番号	製造年		製造者			
電力ヒューズ						

項 目	点 検 内 容	結 果	備 考
本 体	接触部の汚損、変色、放電痕跡の有無		
	絶縁物の汚損、損傷、破損の有無		
	端子接続部の緩み、変色の有無		
	接触状態、アクション及び、フックの状態		
	ヒューズリンクの汚損、損傷断線の有無		
接 続 機 構	操作ロットの変形、発錆、緩みの有無		
	端子接続部の緩み、変色の有無		
	リミットスイッチ及び、補助接点の状態		
	インターロック機構の動作確認		
	開閉操作及び、表示の状態		
測 定	絶縁抵抗測定(別紙参照)		
特記事項			

設置場所	点検日		点検者	
用 途	天候	温度	湿度	
形 式	電圧 V	電流 A	周波数	Hz
製造番号	製造年		製造者	
電力ヒューズ				

項 目	点 検 内 容	結 果	備 考
本 体	接触部の汚損、変色、放電痕跡の有無		
	絶縁物の汚損、損傷、破損の有無		
	端子接続部の緩み、変色の有無		
	接触状態、アクション及び、フックの状態		
	ヒューズリンクの汚損、損傷断線の有無		
接 続 機 構	操作ロットの変形、発錆、緩みの有無		
	端子接続部の緩み、変色の有無		
	リミットスイッチ及び、補助接点の状態		
	インターロック機構の動作確認		
	開閉操作及び、表示の状態		
測 定	絶縁抵抗測定(別紙参照)		
特記事項			

避 雷 器 点 检 表

設置場所		点検日		点検者	
用 途		天候	温度	℃	湿度 %
形 式		電圧 kV	電流	kA	製造年
製造番号	R: S: T:				製造者

[illegible]

計 器 用 変 圧 器 点 検 表

設置場所		点検日		点検者	
用 途		天候	温度	℃	湿度 %
形 式	一次電圧	v	二次電圧	v	三次電圧 v
定格負担	VA	製造番号			
製 造 年	製 造 者				

項 目	点 検 内 容	結 果	備 考
本 体	絶縁物の汚損、変色、亀裂の有無		
	鉄心の緩み、発錆の有無		
	端子接続部の緩み、変色の有無		
付属装置	ヒューズの変色、断線の有無		
	ホルダーの接触、締め付け状態		
	ホルダーの汚損、変色、破損の有無		
引出装置	引出機構の円滑性の状態		
	絶縁物の汚損、損傷、破損の有無		
	断路部の変形、変色の有無		
	導電部の変色の有無		
	各部締め付け状態		
	ユニットのロックねじ、ピンの状態		
	コネクタの異常の有無		
測 定	絶 縁 抵 抗 測 定	一次～大地間 ($M \Omega$)	
		一次～二次間 ($M \Omega$)	
		一次～三次間 ($M \Omega$)	
		二次～大地間 ($M \Omega$)	
		三次～大地間 ($M \Omega$)	
		二次～三次間 ($M \Omega$)	

[illegible]

高 圧 真 空 電 磁 接 触 器 点 検 表 [VMC]											/	
お 客 様		様	盤 名 称				点 検 日	年 月 日				
			機器番号		盤番号							
形 式			形	投入方式	常励式 ラッチ式		点 検 者					
定 格	kV	A	kA	Pw.F: C	A	投入: AC・DC	V	引外し(ラッチ式): AC・DC	V			
製造番号			製	動作回数	点検前:		回	気象状態	℃ %			
製 造 年	年	月	P T	個	点検後:		回					
分類	点 検 項 目		点 検 内 容				点 検 結 果	判定	点検種別 普通 精密			
一 般 構 造	外 観	変形、傷は無い				無 し			○	○		
		汚損、発錆は無い。清掃はしたか				無し / 清掃済						
		ボルト、ナット類にゆるみは無い				無 し						
	表 示	開閉表示は正常か				良 し			○	○		
カウンタは正常に動作するか				良 し								
極 柱	インターロック機構	インターロック機構は正常に動作するか				良 し			○	○		
		V I	外観に異常(傷、汚損、錆)は無い				無 し				○	○
			接点ギャップは良い				良 し					
	ワイブは確保されている(0.5mm以上)				良 し							
絶縁フレーム、絶縁ロッド	清掃はしたか。汚損程度の評価はどうか(大・中・小)				清掃済 / 小			○	○			
	破損、クラックは無い				無 し							
	部分放電の痕跡は無い				無 し							
	導体、断路部				過熱の痕跡は無い。接続部にゆるみは無い		無 し					
操 作 機 構	共 通	接続状態はよい。断路部の清掃とグリースアップはしたか				良/清掃・塗布済			○	○		
		電力ヒューズ(Pw. F)	溶断していない(溶断表示で確認)				無 し				○	○
			過熱の痕跡は無い				無 し					
			締め付け箇所				無 し					
ラ ッ チ	注 油	ボルト、ナット類にゆるみは無い				無 し		○	○			
		配 線	回転部、摺動部に注油したか				注 油 済					
			配線に傷は無い。接続部にゆるみは無い				無 し					
			補助開閉器				接触状態はよい(導通チェック)			良 し		
機 構	掛 合 い 部	錆、グリースの固着は無い						-	-			
		引外しフック	引外しフックとコロのギャップは正常(0.2 ~ 0.6 mm)				mm					
			引外し電磁石				mm					
			ブランジャーとフックのギャップは正常(4.5 ~ 5.5 mm)									
試 験	電 気 操 作	開閉動作は正常か				良 し			○	○		
		常 励 式	最低投入電圧	85 / 75 V (AC/DC) 以下			A C 5 5 V					
			最高離落電圧	10 V 以上 (参考)			A C 4 5 V					
			保持電流	0.3 A 以下 (at 100V) (参考)			A C 0.15 A					
	ラ ッ チ	最低投入電圧	85 / 75 V (AC/DC) 以下			C V		-	-			
		最低引外し電圧	60 V 以下			C V						
	V I の 真 空 チェック	極間に A C 11 kV を印加して閃絡しないこと				閃絡無し			-	○		
		絶 縁 抵 測 抗 定	主回路~大地				2000 MΩ					
			極 間	500 MΩ 以上 (1000Vメガー)			2000 MΩ					
			相 間				2000 MΩ					
	P T	制御回路~大地	2 MΩ 以上 (500Vメガー)			100 MΩ			○	○		
		一次側コイルの導通確認	導通はあるか (アナログテスターで確認)				R-S相間:					
導通はあるか (アナログテスターで確認)				S-T相間:								
事 記												

乾式變壓器点檢表

設置場所			点 検 日		点検者	
機器名称			天候	温度	℃	湿度 %
形 式			1次電圧		V	2次電圧 V
容 量 kVA		相 数 φ	1次電流		A	2次電流 A
製造番号		製造年	製 造 者		絶縁階級 種	

[illegible]

コンデンサ点検表

設置場所		点検日		点検者	
用 途		天候	温度 ℃		湿度 %
形 式	容量 kvar	電圧 V	電流 A		周波数 Hz
製造番号		製造年		製造者	

項 目	点 検 内 容				結 果	備 考
外 観	異音、過熱の有無					
	油漏れの有無					
	塗装の剥離、発錆の有無					
	ケース異常膨張の有無					
	ブッシングの汚損、損傷、破損の有無					
接 続 部	端子接続部の緩み、変色の有無					
	接地端子部の締め付け状態					
測 定	絶縁抵抗測定		大地間一括 (MΩ)			
	静電容量測定		U-V: μF	U-VW: μF		
			V-W: μF	V-WU: μF		
			W-U: μF	W-UV: μF		
特記事項						

設置場所		点検日		点検者	
用 途		天候	温度	℃	湿度
形 式	容量	kvar	電圧	V	電流
製造番号		製造年		製造者	
				A	
				Hz	

項 目	点 検 内 容				結 果	備 考
外 観	異音、過熱の有無					
	油漏れの有無					
	塗装の剥離、発錆の有無					
	ケース異常膨張の有無					
	ブッシングの汚損、損傷、破損の有無					
接 続 部	端子接続部の緩み、変色の有無					
	接地端子部の締め付け状態					
測 定	絶縁抵抗測定		大地間一括 (MΩ)			
	静電容量測定	U-V:	μF	U-VW:	μF	
		V-W:	μF	V-WU:	μF	
		W-U:	μF	W-UV:	μF	
特記事項						

乾 式 リ ア ク ト ル 点 検 表

設置場所			点検日		点検者		
用 途			天候	温度℃		湿度%	
形 式		容量kvar	電圧V	電流A		周波数Hz	
絶縁種類		製造番号	製造年		製造者		

項 目	点 検 内 容		結 果	備 考
外 観	異音、異臭、過熱の有無			
	絶縁物の変色、損傷、破損の有無			
	鉄心の発錆の有無			
	コイル表面の変色、損傷の有無			
接 続 部	端子接続部の緩み、変色の有無			
	接地端子部の締め付け状態			
測 定	絶縁抵抗測定	U相～大地間 (M Ω)		
		V相～大地間 (M Ω)		
		W相～大地間 (M Ω)		
特記事項				

設置場所			点検日		点検者				
用 途			天候	温度	℃	湿度	%		
形 式		容量	kvar	電圧	V	電流	A	周波数	Hz
絶縁種類		製造番号		製造年		製造者			

項 目	点 検 内 容		結 果	備 考
外 観	騒音、異音、過熱の有無			
	絶縁物の変色、損傷、破損の有無			
	鉄心の発錆の有無			
	コイル表面の変色、損傷の有無			
接 続 部	端子接続部の緩み、変色の有無			
	接地端子部の締め付け状態			
測 定	絶縁抵抗測定	U相～大地間 (M Ω)		
		V相～大地間 (M Ω)		
		W相～大地間 (M Ω)		
特記事項				

真 空 遮 断 器 点 検 表 [M E L V A C]													/	
お 客 様		様		盤 名 称				点 検 日	年 月 日					
				機器番号		盤番号								
形 式		形 定 格		kV - A - kA			点 検 者							
制御電圧		閉路操作 (M) : AC・DC V		閉路制御 (GC, 52X, 52Y) : AC・DC V			開路制御 (STC) : DC V							
製造番号				動作回数			点検前 : 回		気象状態		℃ %			
製 造 年		年 月		製		点検後 : 回								
分類	点 検 項 目		点 検 内 容					点 検 結 果	判定	点検種別				
										普通	精密			
一般構造	外 観		変形、傷は無い					無 し		○	○			
			汚損、発錆は無い。清掃はしたか					無し / 清掃済						
			ボルト、ナット類にゆるみは無い					無 し						
	手動操作		手動による開閉操作はスムーズか					良 し		○	○			
			手動蓄勢ハンドルでスムーズに蓄勢できたか					良 し						
	表 示		蓄勢、開閉表示は正常か					良 し		○	○			
			カウンタは正常に動作するか					良 し						
	インターロック機構		インターロック機構は正常か					良 し		○	○			
			キュービクル内を挿抜するとき、スムーズに作動するか					良 し						
極柱	V I 絶縁フレーム、絶縁ロッド		外観に異常 (傷、汚損、錆) は無い					—		—	—			
			清掃はしたか。汚損程度の評価はどうか (大・中・小)					清掃済 / 小						
			水の付着、破損、クラックは無い					無 し						
	導体、断路部		部分放電の痕跡は無い					無 し		○	○			
			過熱の痕跡は無い。接続部にゆるみは無い					無 し						
			接続状態はよい。断路部の清掃とグリースアップはしたか					良 / 清掃・塗布済						
	機構部		チャージ用ネジ及びバネに変形、発錆はない					無 し		○	○			
			ボルト、ナット類にゆるみは無い					無 し						
			止め輪などの脱落、変形は無い					無 し						
			リンクレバーの状態は正常					良 し						
回転部、摺動部に注油したか					注 油 済									
制御装置	配 線		配線に傷は無い。接続部にゆるみは無い					無 し		○	○			
	補助開閉器		接触状態はよい (導通チェック)					良 し						
	インターロック機構		リミットスイッチの動作はよい					良 し						
試験	電気操作		投入/引外し		開閉動作は正常			良 し		○	○			
			引外し自由		引外し優先、反復防止機能はよい			良 し						
	最低動作電圧測定		投 入		7 5 V 以下			4 8 V		—	○			
			引 外 し		6 0 V 以下			3 6 V						
			蓄 勢		8 5 V 以下			4 8 V						
	開閉特性試験 (at100V)		閉極時間		参考測定			2 4 ms		—	○			
			開極時間		参考測定			3 2 ms						
			蓄勢時間		参考測定			2 . 7 s						
	V I の真空チェック		極間に AC 2 2 kV を印加して閃絡しないこと					閃絡無し		—	○			
			絶縁抵抗測定		主回路～大地							2 0 0 0 MΩ		
極 間					5 0 0 MΩ 以上 (1000V メガー)			2 0 0 0 MΩ						
相 間								2 0 0 0 MΩ						
制御回路～大地						2 0 0 MΩ								
電 動 機 ～大地		2 MΩ 以上 (500V メガー)			2 0 0 MΩ									
記 事														

地絡方向繼電器試驗表

設置場所			試験者		試験日	天候	温度	℃	湿度	%
試 験 器	形 式	製 造 番 号	製 造 年	製 造 者	備 考					

器具番号	形式	製造年	整定値			テスト B S 動作	最小動作電圧V0(V)	位相特性I0= 0 A		動作時間(秒)		外 観 一般点検	結 果	備 考
	製造番号	製造者	電圧%	電流A	時間S		最小動作電流I0(A)	Lead	Lag	(130%A)	(400%A)			
管理値														
特記事項														

過電流継電器試験表

設置場所			試験者		試験日		天候	温度℃	湿度%
試験器	形式	製造番号	製造年	製造者	備考				

器具番号	形式	製造年	タップ	最小	レバー	動作時間(秒)			瞬時(A)		瞬時時間	外観	結果	備考
	製造番号	製造者	整定値(A)	動作値(A)	整定値	200 (%)	300 (%)	500 (%)	整定値	動作値	200%(ms)	一般点検		

特記事項

不足電圧継電器試験表

設置場所			試験者		試験日		天候		温度 °C		湿度 %	
試 験 器	形 式	製 造 番 号	製 造 年	製 造 者	備 考							

器具番号	形 式	製造年	タップ	最 小	レバー	動 作 時 間 (秒)				外 観	結 果	備 考
	製造番号	製造者	整定値(V)	動作値(V)	整定値	70 (%)	0 (%)	(%)	(%)	一般点検		

特記事項

過電壓繼電器試驗表

設置場所			試験者		試験日	天候	温度 °C	湿度 %
試 験 器	形 式	製 造 番 号	製 造 年	製 造 者	備 考			

器具番号	形 式	製造年	タ ッ プ	最 小	レ バ ー	動 作 時 間 (秒)				外 観	結 果	備 考
	製造番号	製造者	整定値(V)	動作値(V)	整定値	110 (%)	120 (%)			一般点検		

特記事項

接 地 抵 抗 測 定 表

設置場所			
測定日	測定者	天候	気象条件

測 定 器	形 式	製造番号	製造年	製造者	備考

種 別	用 途						結 果
A種							
B種							
D種							

判定基準……電気設備技術基準第17条による。()内は有効な地絡保護を行う場合。			
接地工事の種類	A種	B種	D種

特記事項 （接地端子箱又は補助極打込みの位置等）

絶縁抵抗測定表

測定場所						
測定日	測定者	天候		温度・湿度		

測定器	形式	定 格	製造番号	製造年	製造者	

[illegible]

保護連動試験表

[illegible]

過電流継電器

器具名称		使用場所	
------	--	------	--

形式		試験日			
定格					
		気象条件			
製造番号					
整定範囲		時間		試験周波数	

1. 動作値測定

	整定値 (A)	動作値特性		結果
		動作値 (A)	管理値	
R				
T				

2. 動作時間特性

相	整定値	動作時間 (秒)			管理値	結果
		300%	500%	700%		
R						
T						

機器名	形式	製造番号	校正年月	製造年	製造者名

不足電圧継電器

器具名称		使用場所	
形式		試験日	
定格			
製造番号		気象条件	
整定範囲	電圧		
	時間	試験周波数	

1. 動作値測定

整定値（V）	動作値特性		結果
	動作値（V）	管理値	

2. 動作時間特性

整定値（秒）	動作時間（秒）	管理値	結果

過電圧継電器

器具名称		使用場所	
形式		試験日	
定格			
製造番号		気象条件	
整定範囲	電圧		
	時間	試験周波数	

1. 動作値測定

整定値（V）	動作値特性		結果
	動作値（V）	管理値	

2. 動作時間特性

整定値（秒）	動作時間（秒）	管理値	結果

機器名	形式	製造番号	校正年月	製造年	製造者名

地絡過電圧継電器

器具名称		使用場所	
------	--	------	--

形式				試験日	
定格					
製造者				気象条件	
製造番号					
整定範囲	零相電圧		時間		試験周波数

1. 動作値測定 (T端子入力)

整定値 (%)	動作値特性		結果
	動作値 (V)	管理値	

単体特性	MPD-3組合せ特性					
	各Vo整定値・最小動作時間整定にて下表±25%以内					
	Vo整定値 (%)	2	4	6	8	10
	三相一括電圧 (V)					
	T 端子電圧 (V)					
	Vo整定値 (%)	12	14	16	18	20
	三相一括電圧 (V)					
	T 端子電圧 (V)					

2. 動作時間特性

整定値 (秒)	動作時間 (秒)	管理値	結果

機器名	形式	製造番号	校正年月	製造年	製造者名

静止形速度継電器試験成績書

形 式	SFTG-HH-63	試 験 日			試 験 者				
定 格									
盤 番 号	製造番号	12			14L			結果	備考
器具番号	製 造 年	設定値 min ⁻¹	動作値 Hz	換算値 min ⁻¹	設定値 min ⁻¹	動作値 Hz	換算値 min ⁻¹		

静止型電圧継電器試験表

形 式	L G 2－A B		試 験 日				試 験 者	
定 格			気 温				湿 度	
盤番号	製造番号	整定値	最小 動作値	時 限 特 性 (秒)			結果	備 考
器具番号	製造年	タ ッ プ		(V)				
管理値								

測 定 機 器	機器名	形式	製造番号	校正年月	製造年	製造者名

余 白

自家発電設備精密点検業務

発電機及び電気設備点検

発 電 機 点 検 表

需 要 家		点検年月日		温 度	℃
設置場所		点 検 者		天 候	

対象機器	点 検 項 目	点 検 内 容	実施	判定	摘 要														
1. 発 電 機	フ レ ー ム	きれい、変形ないか																	
(1) 静止時	基 礎	きれい、沈下ないか																	
	基礎締付部	ゆるみはないか																	
	保護カバー	締付にゆるみはないか																	
	鉄 心	おさえにゆるみはないか																	
	静止型 AVR	ハンダ上げ部はよいか																	
	端子接続部	変色・変形ないか																	
	内 部	目視点検																	
	励 磁 回 路	絶縁抵抗測定																	
	主 回 路	絶縁抵抗測定																	
	回 転 子	絶縁抵抗測定																	
(2) 無負荷 運転時	無 負 荷 運 転	異常ないか																	
	温 度	過熱ないか																	
	臭 い	異臭ないか																	
	振 動	異常な振動ないか																	
	回転検出機	正常に動作しているか																	
	軸 受	異音ないか																	
	電 圧	正しいか																	
	周 波 数	正しいか																	
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; padding: 10px;"> <div> <p>界磁電圧・電流測定</p> <p>電圧調整範囲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 20%;">設定器 (%)</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>発電機電圧 (V)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <div style="text-align: center; flex-grow: 1;"> <p>J－K抵抗： Ω／界磁電圧： V／界磁電流： A</p> </div> </div>						設定器 (%)							発電機電圧 (V)						
設定器 (%)																			
発電機電圧 (V)																			

測定機器

機 器 名	形 式	製 造 番 号	校 正 年 月	製 造 年	製 造 者 名

配 電 盤 点 検 表

需要家名		点検年月日		温 度	℃
設備場所		点 検 者		天 候	
製造年		盤 名 称			
項 目	点検内容	実施	結果	実施	結果
盤 全 般	据付状態の確認				
	接地線の腐食、締付ボルトの緩み				
	扉の開閉状態の確認				
	各部の清掃				
	塗装のはく離、さびの発生状態				
表 面 取付器具	表面取付器具の状態と破損の有無				
	スイッチ等のせり、ボルトのゆるみ、破損				
計 器	内部にじん埃、水滴の有無				
	ガラス窓の破損				
	零点指示の確認				
保 護 継電器	内外部点検(保護継電器試験表参照)				
	動作特性試験(保護継電器試験表参照)				
主母線	変形、変色、発錆の有無				
	ボルトのゆるみ(締付後のチェックマーク)				
	支持碍子の破損、き裂の有無				
	サーモラベル変色の有無				
ヒューズ	ヒューズの溶断過熱の有無				
	ヒューズリンクの開閉状態(電力ヒューズ)				
変成器 避雷器	破損、き裂の有無				
	変形、変色の有無				
引出装置	ユニットのせり、ロックボルトの状態				
器具類	ナイフスイッチ、MCBの破損				
	端子台のゆるみの有無				
	電磁接触器のうなりの有無				
測 定	絶縁抵抗測定(絶縁抵抗測定表参照)				
保護連動	保護連動試験表参照				
盤内収納 主要機器	それぞれの機器点検表参照				
備 考					

測定機器

機 器 名	形 式	製 造 番 号	校 正 年 月	製 造 年	製 造 者 名

真空遮断器点検表

用 途		形 式		動作回数	
定 格				点 検 日	
製造番号		製造年		点 検 者	

点 検 項 目			点 検 内 容	実施	結果
1 一 般 構 造	手動投入		手動投入ハンドルにて円滑に投入出来ること		
	手動引外し		引外しボタンを押して正常に引外しできること		
	引外し自由		引外しボタンを押した状態で手動ハンドルにて投入した時、リンクは円滑に動き又スムーズに戻る こと (V I は動作せず)		
	開閉表示器カウンター インターロックチャッター		遮断器開閉操作時、本体に連動して確実に動作すること		
	各部の清掃		遮断器に付着した塵埃などを清掃する		
2 極 柱	VI 外観		外観に異常はないか (傷、亀裂、破損など)		
	絶縁枠		外観に異常はないか (キズ、クラック、破損など)		
	絶縁ロッド		〃 〃		
	主導電部		主導電部の締付ボルト、増締め、断路部の清掃		
3 操 作 機 構	1 調 整 寸 法	圧接寸法	コンタクト圧接寸法 (1~4.5mm) (実測値—mm)		
		係り合部	メインフック、トリップフック、コロの変形、発錆		
		締付け及び連結部	ボルト、ナットの緩み、スナップピン止め輪の脱落の有無		
	2 機 構 部	注 油	機構連結部、回転部、摺動部への注油		
		しゃ断バネ他	発錆、変形、亀裂などの確認		
		制御回路配線	接続部の緩み、リード線の傷などの点検		
		制御開閉器	接点の損傷状態、動作具合の消耗の点検		
	3 制 御 装 置	補助開閉器	接触状態などの確認		
		コイル類	断線の有無の確認 (テスターによりコイル抵抗測定)		
4 引 出 装 置	1 次断路部		接続位置に於ける主回路接触状態の確認		
	接続引出操作		手動によりスムーズに操作出来ること		
5 試 験	絶 縁 測 抵 定 抗	主回路一括大地間	1000V メガーにて 500MΩ 以上のこと 2000MΩ 以上		
		同相主回路端子間	〃 〃 2000MΩ 以上		
		操作制御回路大地間	500V メガーにて 2 MΩ 以上のこと 100MΩ 以上		
	耐電圧試験(真空チェック)		AC 22 Kv10 秒間印加し異常のないこと		

測定機器

機 器 名	型 式	製 造 番 号	校 正 年 月	製 造 年	製 造 者 名

絶縁抵抗測定試験

[illegible]

点検日	点検者	温度	℃	湿度	%	天 候
-----	-----	----	---	----	---	-----

測定機器

機 器 名	形 式	製 造 番 号	校 正 年 月	製 造 年	製 造 者 名

過電流繼電器

器具名称		使用場所	
------	--	------	--

形式		試験日			
定格					
		気象条件			
製造番号					
整定範囲		時間		試験周波数	

1. 動作値測定

	整定値 (A)	動作値特性		結果
		動作値 (A)	管理値	
R				
T				

2. 動作時間特性

相	整定値	動作時間 (秒)			管理値	結果
		300%	500%	700%		
R						
T						

機器名	形式	製造番号	校正年月	製造年	製造者名

不足電圧継電器

器具名称				使用場所			
形式				試験日			
定格							
				気象条件			
製造番号							
整定範囲	電圧		時間		試験周波数		

1. 動作値測定

整定値 (V)	動作値特性		結果
	動作値 (V)	管理値	

2. 動作時間特性

整定値 (秒)	動作時間 (秒)	管理値	結果

過電圧継電器

器具名称				使用場所			
形式				試験日			
定格							
				気象条件			
製造番号							
整定範囲	電圧		時間		試験周波数		

1. 動作値測定

整定値 (V)	動作値特性		結果
	動作値 (V)	管理値	

2. 動作時間特性

測定条件: 0Vから整定電圧の120% (150V) に急変

整定値 (秒)	動作時間 (秒)	管理値	結果

機器名	形式	製造番号	校正年月	製造年	製造者名

地絡過電圧継電器

器具名称		使用場所	
------	--	------	--

形式				試験日			
定格							
製造者				気象条件			
製造番号							
整定範囲	零相電圧		時間		試験周波数		

1. 動作値測定 (T端子入力)

整定値 (%)	動作値特性		結果
	動作値 (V)	管理値	

単体特性	MPD-3組合せ特性				
	各Vo整定値・最小動作時間整定にて下表±25%以内				
	Vo整定値 (%)	2	4	6	8
	三相一括電圧 (V)				
	T端子電圧 (V)				
	Vo整定値 (%)	12	14	16	18
	三相一括電圧 (V)				
	T端子電圧 (V)				
	Vo整定値 (%)	20			
	三相一括電圧 (V)				
	T端子電圧 (V)				

2. 動作時間特性

整定値 (秒)	動作時間 (秒)	管理値	結果

機器名	形式	製造番号	校正年月	製造年	製造者名

静止形速度継電器試験成績書

形 式		試 験 日		試 験 者	
定 格					
盤 番 号	製造番号				
器具番号	製 造 年	設定値 min ⁻¹	動作値 Hz	換算値 min ⁻¹	結果
	動作 管理値				

静止型電圧継電器試験表

形 式		試 験 日		試 験 者			
定 格		気 温		湿 度			
盤番号	製造番号	整定値	最小 動作値 (V)	時 限 特 性 (秒)		結果	備 考
器具番号	製造年	タップ					
管理値							

測定 機 器	機器名	形 式	製造番号	校正年月	製造年	製造者名

充電器・蓄電池点検表

項 目	点 検 内 容	結 果	備 考
充 電 器	各部緩みの確認		
	浮動充電電圧測定		
	充電器入力電圧の測定		
	形式、製造年月		
蓄 電 池	変形、変色、汚損の有無		
	各部緩みの確認		
	接続部の確認		
	形式、製造年月、製造者		
	有効寿命		

蓄電池電圧、内部抵抗、端子温度の測定

セル No	浮動電圧 (V)	内部抵抗	電池温度 (℃)	結果	セル No	浮動電圧 (V)	内部抵抗	電池温度 (℃)	結果
1					7				
2					8				
3					9				
4					10				
5					11				
6					12				
浮動時蓄電池電圧									

始動回数試験

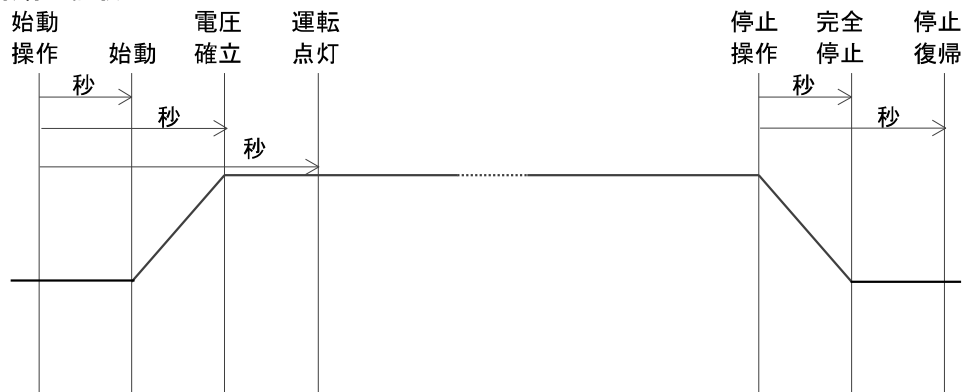
回 数	蓄 電 池 電 圧 (V)			結 果
	始 動 前	始 動 後	電 圧 降 下	
1				
2				
3				
4				
5				

測定機器

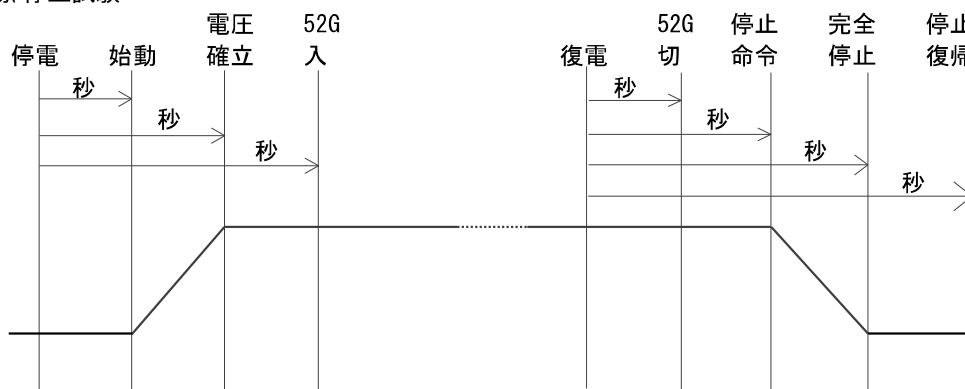
機 器 名	形 式	製 造 番 号	校 正 年 月	製 造 年	製 造 者 名

始動停止試験

手動始動、停止試験



自動始動、停止試験



測定機器

機 器 名	形 式	製 造 番 号	校 正 年 月	製 造 年	製 造 者 名

保 護 連 動 試 験

自 動 始 動 発 電 機 盤												
	保 護 回 路 名	器 具 番 号	整 定 値	機 関 止		遮断器 開 放		警 報 表 示				備 考
				実 施	結 果	実 施	結 果	実 施	結 果	実 施	結 果	
重 故 障	潤 滑 油 油 圧 低 下	63Q	0.1MPa									
	冷 却 水 温 度 上 昇	26W	105℃									
	過 回 転	12	1725min-1									
	始 動 渋 滞	48	55秒									
	緊 急 停 止	5E	—									
	過 電 圧	59G	125V / 2秒									
	不 足 電 圧	27G	95V / 2秒									
	燃料小出槽最低油量	33QLL	—									
中 故 障	過 電 流	51G	4A									
軽 故 障	燃料小出槽油面低下	33QL	—									
	燃料小出槽油面上昇	33QH	—									
	地 絡	64G	6% / 1秒									
	補 機 故 障	30A	MCBサーマルトリップ°									
	主 燃 料 槽 油 面 低 下	33MQL										
	始動用直流電源盤故障	30B										

燃料小出槽関係

測定機器

機 器 名	型 式	製 造 番 号	校 正 年 月	製 造 年	製 造 者 名

運 轉 記 録

負荷の種類 — 無負荷

[illegible]

余 白

自家発電設備精密点検業務

ディーゼルエンジン点検

エンジン点検整備表 1 / 5

●：今回実施

点 検 整 備 内 容				点 検 周 期					点 検 整 備 結 果		
大 分 類	中 分 類	作 業 No	小 分 類	半 年	一 年	二 年	四 年	八 年	点 検 結 果		整 備 結 果
									判 定	現状の 数値	
発 電 機 室 設 備 外 観 点 検	設 備 環 境	1	可燃物貯蔵状況								
		2	周囲の整理・整頓								
		3	水の浸透等の状況								
		4	照明機能等の状況								
		5	換気状況（自然・強制）								
	耐 震 装 置	6	各種可とう管の状況								
		7	燃料用可とう管の状況								
		8	防振装置、基礎ボルト								
		9									
	排 気 筒	10	破損・亀裂・変形等点検								
		11	断熱状況の点検								
		12	貫通部の状況点検								
	始 動 装 置	13	バッテリー充電電圧								
		14	バッテリー内部抵抗								
		15	バッテリー外観、汚れ、傷等								
		16	セルモータ外観等の点検								
		17	セルモータブラシ点検								
	冷 却 水	18	漏水の有無点検								
		19	冷却水水量								
		20	ラジエター水量、不凍液								
	燃 料 ・ 潤 滑 油	21	燃料槽のドレン除去								
		22	燃料油量計と量								
		23	エンジン潤滑油面								
		24	空気圧縮機の油量								
		25	発電機軸受油量								
		26	計器類の点検								
	絶 縁 接 地	27	接地抵抗測定								
		28	絶縁抵抗（出力回路）								
		29	絶縁抵抗（励磁回路）								
		30	絶縁抵抗（操作回路）								

エンジン点検整備表 2 / 5

●：今回実施

点 検 整 備 内 容				点 検 周 期					点 検 整 備 結 果		
大 分 類	中 分 類	作 業 No	小 分 類	半 年	一 年	二 年	四 年	八 年	点 検 結 果		整 備 結 果
									判 定	現状の 数値	
作 動 総 合 点 検	始 動 ・ 運 転 ・ 停 止	31	自動始動の動作点検								
		32	電圧確立（消防法適合機40sec以内）								
		33	試験運転（無負荷10分、実負荷80分以上）								
		34	運転中（各温度、圧力等点検）								
		35	運転中（水、油、ガス洩点検）								
		36	運転中の排気色（目視）								
		37	機関各部ボルトゆるみ点検								
		38	運転計器類作動状況								
		39	自動、手動、停止点検								
潤 滑 油 系 統 点 検	エ ン ジ ン	40	潤滑油ろ器ドレン除去								
		41	潤滑油ろ器分解掃除								
		42	オイルクーラー分解点検清掃								
		43	汚れ点検								
		44	潤滑油ポンプ分解点検								
	弁 腕	45	弁腕タンクオイル汚れ								
		46	弁腕タンク油面								
		47	弁腕注油ポンプ分解点検								
	そ の 他	48	集合型F0ポンプ油量点検								
		49	ガバナー油量点検								
		50	過給機油量点検								
燃 料 油 系 統 点 検	燃 料 タ ン ク	51	燃料ろ器ドレン、水、排出								
		52	燃料ろ器の分解掃除								
		53	燃料タンクドレン排出								
		54	フィードポンプ分解点検								
		55	燃料汲上げポンプ作動点検								
	燃 料 ポ ン プ	56	燃料ポンプラック摺動点検								
		57	燃料噴射時期の点検								
		58	燃料ポンプ分解点検								
		59	ノズル噴霧、圧力点検								
		60	ノズルホルダー分解掃除								

エンジン点検整備表 3 / 5

●：今回実施

点 検 整 備 内 容				点 検 周 期					点 検 整 備 結 果		
大 分 類	中 分 類	作 業 No	小 分 類	半 年	一 年	二 年	四 年	八 年	点 検 結 果		整 備 結 果
									判 定	現状の 数値	
重 要 保 安 部 品 と 主 要 部 品	ピ ス ト ン	61	ピストン抜き出し、カーボン掃除								
		62	ピストンリングの点検								
		63	ピストンリング溝の点検								
		64	ピストンピン及びピン穴点検								
		65	ピストン外観点検及び計測								
	ロ ッ ク	66	ピストンピンメタル点検								
		67	クランクピンメタル点検								
		68	ロッドボルト点検								
	主 軸 受	69	主軸受メタル点検								
		70	スラスト点検								
		71	主軸受ボルト点検								
	ク ラ ン ク	72	ピン、ジャーナル点検、計測								
		73	デフレクション計測								
	ラ イ ナ ー ギ ヤ ー	74	シリンダーライナー内径計測								
		75	ライナー抜き出し、ジャケット内点検								
		76	タイミングギヤー当たり点検								
		77	ギヤー間隙調整								
冷 却 水	水 ポンプ	78	水漏れ、インペラゆるみ点検								
		79	主要部分解点検								
	水 管	80	冷却水パイプ腐食、亀裂点検								
		81	温調弁分解掃除点検								
調 速 機	ガ バ ナ	82	リンク機構注油摺動点検								
		83	調速機分解点検								
		84	燃料制限装置作動点検								
始 動 空 気 系 統	始 動 弁	85	始動弁ガス漏れ点検								
		86	始動弁、弁座摺合せ								
		87	分配弁分解点検								
	空 気 管	88	リクレス分解掃除								
		89	空気電磁弁分解掃除								
		90	空気配管系の漏れ点検								

エンジン点検整備表 4 / 5

●：今回実施

点 検 整 備 内 容				点 検 周 期					点 検 整 備 結 果		
大 分 類	中 分 類	作 業 No	小 分 類	半 年	一 年	二 年	四 年	八 年	点 検 結 果		整 備 結 果
									判 定	現状の 数値	
ヘ ッ ド 動 弁 装 置	吸 排 気 弁	91	吸排気弁間隙調整								
		92	吸排気弁バネ点検								
		93	吸排気弁、弁座摺合せ								
		94	シリンダーヘッドカーボン掃除								
	カ ム 弁 腕	95	タペットローラとカム当り点検								
		96	吸排気、燃料タペット分解点検								
		97	プシュロット抜き出し曲がり点検								
		98	弁腕ブッシュ軸、分解点検								
過 給 機	過 給 機	99	ブロワーフィルター洗浄								
		100	分解点検掃除								
		101	インタークーラー分解掃除								
ゲ ー ジ 及 び 継 電 器 関 係	計 器 盤	102	回 転 計 (機関停止中0を指している)								
		103	機関油圧計 "								
		104	弁腕油圧計 "								
		105	燃料圧力計 "								
		106	冷却水圧力計 "								
		107	給気圧力計 "								
	油 圧	108	油圧リレー作動点検								
		109	配線ターミナルの増締点検								
	水 温	110	冷却水温リレー作動点検								
		111	配線ターミナルの増締点検								
	流 水	112	流水リレー作動点検								
		113	配線ターミナルの増締点検								
	過 速度	114	過速度リレー作動点検								
		115	配線ターミナルの増締点検								
	燃料 油面	116	燃料フロートスイッチ作動点検								
		117	配線ターミナルの増締点検								
	空 気 圧	118	空気槽圧カリレー作動点検								
		119	配線ターミナルの増締点検								
		120	安全弁噴き出し								

●：今回実施

[illegible]

直流電源装置点検業務

整 流 器

設置場所	B1F電気室	用 途	操作・表示灯・非常照明用	
	形 名	製造番号	製造年月	製 造 者
装 置	T R - S N T R 1 0 0 5 0 - A	30028187	2008年 12月	(株)ジーエス・ユアサパワースysteme
蓄 電 池	S N S X - 1 5 0 54 セル	TCETQA	2021年 11月	(株)GSユアサ

項 目	点 検 結 果	点 検 基 準	判定
1. 現 状 点 検	R - S : V		
①交流入力電圧	S - T : V	200 V ± 10 % (180 ~ 220 V以内)	
	T - R : V		
②整流器出力電圧	(浮動充電電圧) V	120.4 V ± 1.5 % (118.7 ~ 122.2 V以内)	
③整流器出力電流	A	0 A ~ 50 A	
④負荷電圧	(直接負荷) V	120.4 V ± 1.5 %	
	(補償負荷) V	90 V ~ 110 V	
⑤負荷電流	A	0 A ~ 50 A	
2. 外観点検			
①外観、扉、換気口		汚れ・損傷の有無を点検する	
②各部品		汚れ・損傷・過熱・変色・腐食 異音・異臭の有無を点検する (特に トランス、チョーク、リレー、接触部、 導体接続部、コンデンサ等)	
③開閉器		汚れ・損傷・過熱・変色・腐食 異音・異臭の有無を点検する	
④清掃・締付確認	清 掃 : 締 付 確 認 :	盤内外清掃 締め付けに異常がないこと	
3. 絶 縁 抵 抗 測 定	A C - D C MΩ 以上 A C - E MΩ 以上 D C - E MΩ 以上	各間とも 5 MΩ以上 (500 Vメガーにて測定)	
4. 電 圧 調 整 範 囲	浮動 : V ~ V	浮動 : 120.4 V ± 3%以上 (116.8 ~ 124.1 V)	

項 目	点 検 結 果	点 検 基 準	判定
11.最終設定確認			
①整流器出力電圧	浮動充電電圧 V	120.4 V ± 1.5 % (118.7 ~ 122.2 V以内)	
②整流器出力電流	A	0 A ~ 50 A	
③負荷電圧	(直接負荷) V (補償負荷) V	120.4 V ± 1.5 % 90 V ~ 110 V	
④負荷電流	A	0 A ~ 50 A	

波 形 観 測 記 録

サイリスタ点弧状態

浮 動 時

浮 動 電 圧 120.4 V

縦 軸 25.0 V/DIV
横 軸 0.8 msec/DIV

サイリスタ点弧状態

垂下時(最大電流)

垂 下 電 流 A

縦 軸 25.0 V/DIV
横 軸 0.8 msec/DIV

波形観測結果

蓄 電 池

設置場所	B1F電気室			用 途	操作・表示灯・非常照明用	
蓄 電 池	SNSX-150	個数	54 セル (54 個)	製造番号	製造年月	製 造 者
	SNS-150			TCETQA	2021年11月	(株)GSユアサ

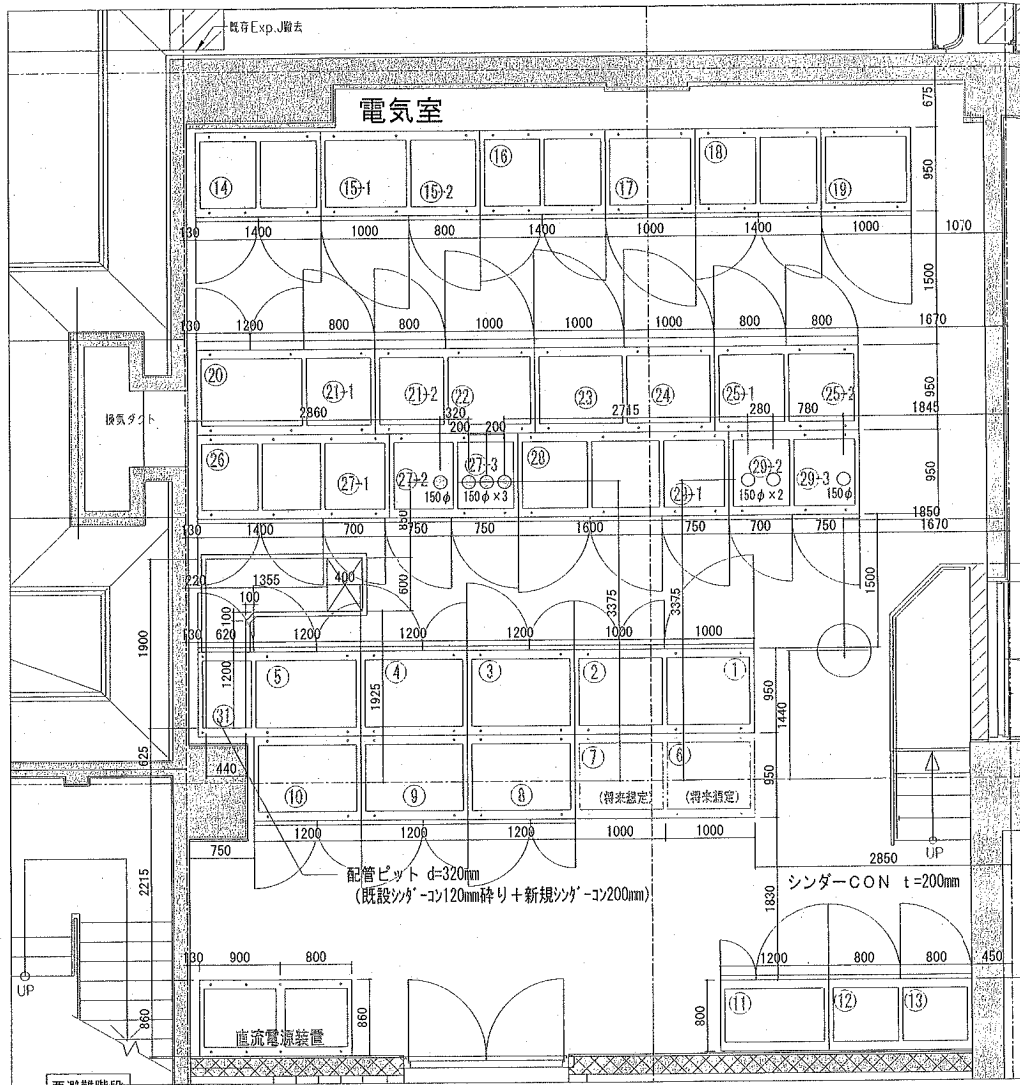
項 目		点 検 結 果					基 準 値			判定
機 能 点 検	1. 浮動充電電圧	測 定 値 V 調 整 値 V					120.4 V ± 1.0 % (119.3 ~ 121.7 V 以 内)			
	2. 単電池電圧	単電池	平均値	最小	最大	判定	許容電圧範囲 (2.10 ~ 2.55 V 以 内)			
		SNS-150								
	単位:V									
	3. 内 部 抵 抗	単電池	平均値	最小	最大	判定	単電池	警告値	寿命値	
		SNS-150					SNS-150	0.790mΩ	0.930mΩ	
	単位:mΩ					上記数値以下のこと				
	4. 蓄電池周囲温度	位置	測定値		位置	測定値	室温との温度差：+5℃以内			
		3 段								
		2 段								
		最下段								
	5. 室 温	℃					-15℃ ~ +40℃			
外 観 点 検	1. 電 槽 ・ 蓋						亀裂、変形、漏液 等の無いこと			
	2. 排 気 栓						損傷の無いこと			
	3. 接 続 部						緩み、変色、発錆 等の無いこと			
	4. 温度検出装置						腐食、断線の無いこと			
	5. 架台・外箱						汚れ、損傷 等の無いこと			
そ の 他	1. 清 掃						著しい汚れの無いこと			
	2. 増 締						トルク値： 17.2±2.5 N.m			
	3. 換 気						異常のないこと			

蓄電池測定記録 I

形 式 SNS-150
 総電圧 V (セル数 54セル)

設置場所 B1F電気室
 用 途 操作・表示灯・非常照明用
 測定日

電池 番号	電池電圧 (V)	内部抵抗 (mΩ)	電池 番号	電池電圧 (V)	内部抵抗 (mΩ)
1			31		
2			32		
3			33		
4			34		
5			35		
6			36		
7			37		
8			38		
9			39		
10			40		
11			41		
12			42		
13			43		
14			44		
15			45		
16			46		
17			47		
18			48		
19			49		
20			50		
21			51		
22			52		
23			53		
24			54		
25					
26					
27					
28					
29					
30					



開口 400×600 - 1箇所



開口 150φ - 7箇所

No.	盤 名 称
1	本線引込盤
2	本線受電盤
3	本線饋電盤 No. 1
4	本線饋電盤 No. 2
5	本線饋電盤 No. 3
6	予備線引込盤
7	予備線受電盤
8	予備線饋電盤 No. 1
9	高圧発電機連絡盤
10	予備線饋電盤 No. 2
11	高圧コンデンサ盤 No. 1
12	高圧コンデンサ盤 No. 2
13	高圧コンデンサ盤 No. 3
14	一般動力変圧器盤 No. 1
15	一般動力ブレーカ盤 No. 1
16	一般動力変圧器盤 No. 2
17	一般動力ブレーカ盤 No. 2
18	一般動力変圧器盤 No. 3
19	一般動力ブレーカ盤 No. 3
20	一般電灯変圧器盤 No. 1
21	一般電灯ブレーカ盤 No. 1
22	一般電灯変圧器盤 No. 2
23	一般電灯ブレーカ盤 No. 2
24	一般電灯変圧器盤 No. 3
25	一般電灯ブレーカ盤 No. 3
26	非常・保安防災電灯盤
27	非常・保安防災電灯ブレーカ盤
28	非常・保安防災動力盤
29	非常・保安防災動力ブレーカ盤
31	ケーブル引込盤

15	一般動力ブレーカ盤 No. 1	
CET14	TM1-1-1	1MH-2
CET38	TM1-1-2	1MH-3, 2MH-1
CET60	TM1-2	3MH-1, 4MH-1, 5MH-1
CET60	TM1-3	6MH-1, 7MH-1, 8MH-1
CET60	TM1-4	4MH-2, 5MH-2, 6MH-2
CET60	TM1-5	7MH-2, 8MH-2
CET60	TM1-6	RMH-1-1 ①
CET60	TM1-7	RMH-1-1 ②
CET100	TM1-8	RMH-1-1 ③
CET100	TM1-9	RMH-1-1 ④
CET60	TM1-10	RMH-1-2

17	一般動力ブレーカ盤 No. 2	
CET60	TM2-1	RMH-2-1 ①
CET60	TM2-2	RMH-2-1 ②
CET38	TM2-3	RMH-2-1 ③
CET100	TM2-4	RMH-2-2 ①
CET100	TM2-5	RMH-2-2 ②
CET14	TM2-6	RMH-2-3

19	一般動力ブレーカ盤 No. 3	
CET14	TM3-1	レントゲン室
CET60	TM3-2	1MB-1
CET38	TM3-3	RMH-1
CET38	TM3-4	1ML-1
CET38	TM3-5	3ML-1
CET200	TM3-6	3P-3
CET200	TM3-7	3P-4

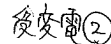
21	一般電灯ブレーカ盤 No. 1	
CET100	TL1-1	L-1H
CET100	TL1-2	L-2H
CET100	TL1-3	L-3H
CET100	TL1-4	L-4H
CET100	TL1-5	L-5H
CET14	TL1-6	L-E

23	一般電灯ブレーカ盤 No. 2	
CET100	TL2-1	L-6H
CET100	TL2-2	L-7H
CET100	TL2-3	L-8H
CET150	TL2-4	L-2B

25	一般電灯ブレーカ盤 No. 3	
CET100	TL3-1	L-2C
CET100	TL3-2	L-2D
CET100	TL3-3	L-2E
CET100	TL3-4	L-1B, L-1C
CET38	TL3-5	L-1D, L-1E
CET100	TL3-6	L-1G (環境衛生分析室)
CET150	TL3-7	L-1-2-3 (別館)
CET100	TL3-8	L-4-5 (別館)
CET60	TL3-9	LAN

29	非常・保安防災動力ブレーカ盤	
FPT38	TM4-1	排煙制御盤
CET14	TM4-2	1MH-1
CET60	TM4-3	1MH-1
CET38	TM4-4	1MH-3
CET38	TM4-5	RMH-1-1 ⑤
CET14	TM4-6	3MH-2
CET38	TM4-7	RMH-2-2 ②
CET38	TM4-8	2ML-1
FPT14	TM4-9	発電機補機電源
CET38	TM4-10	直流電源装置
CET150		M棟へ
CET150		M棟へ
CET150		M棟へ

27	非常・保安防災電灯ブレーカ盤	
CET14	TL4-1	L-FS
CET14	TL4-2	L-1H
CET38	TL4-3	L-2H
CET38	TL4-4	L-3H
CET38	TL4-5	L-4H
CET38	TL4-6	L-5H
CET150	TL4-7	2階防災用分電盤 3階第二会館分電盤
CET14	TL4-8	発電機補機電源
CET14	TL4-9	L-E
CET38	TL4-10	直流電源装置
CET38	TL4-12	L-6H
CET38	TL4-13	L-7H
CET38	TL4-14	L-8H
CET38	TL4-15	L-1B
CET22	TL4-16	L-2B, 2D, 2E
CET38	TL4-17	L-1~5 (別館)
CET38	TL4-18	サーバー室
CET150	TL4-19	6階土木検査室分電盤 8階附属検査分電盤
CET150		M棟へ
CET150		M棟へ



[illegible]

- 平面图 S=1/50

断面图 S=1/5







余 白

令和8年度

東部総合庁舎受変電設備等点検整備業務委託設計書

業務場所 沼津市高島本町地内

静岡県

静岡県

概要

東部総合庁舎受変電設備等点検整備業務委託 一式

¥ -							
但し、東部総合庁舎受変電設備等点検整備業務委託設計書							
内 訳							
符 号	名 称	仕 様	員 数	単 位	単 価	金 額	摘 要
1	受変電設備精密点検業務		1	式			
2	自家発電設備精密点検業務	第1回 + 第2回分	1	式			
3	直流電源装置点検業務		1	式			
4	一般管理費及び諸経費		1	式			
	小計						
	消費税相当額						消費税率10%
	合 計						
静 岡 県							
符 号	名 称	仕 様	員 数	単 位	単 価	金 額	摘 要
1	受変電設備精密点検業務						
1-1	外観機能点検		1	回			
1-2	接地抵抗測定		1	回			
1-3	絶縁抵抗測定		1	回			
1-4	シーケンス試験		1	回			
1-5	保護継電器試験		1	回			
1-6	変圧器点検		1	回			
1-7	真空遮断器点検		1	回			
1-8	仮設発電機費	回送費含む	1	式			
1-9	高圧機器用部品交換						
	計器用変圧器	PD-100KFH 相当品	2	個			
	計器用変圧器	PD-50KFH 相当品	4	個			
	変圧器保護用 L B S 用ヒューズ	T30A	12	本			
	変圧器保護用 L B S 用ヒューズ	T50A	3	本			
	部品交換作業	部品交換、耐圧試験、 図面訂正	1	式			
	小計						

